

特色ある私学経営につき現地見学会

見学先
・
日 時
・
内 容

【西日本地区】京都橘大学 定員40名 1法人につき2名様までとさせていただきます。

2023年6月28日(水) 12時45分 啓成館G103教室集合

所在地 京都市山科区大宅山田町34 (TEL. 075-571-1111)

〔地下鉄東西線「柳辻」駅下車徒歩15分、またはJR「山科」駅下車バス15分〕

学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針のご説明、
質疑応答の後、施設見学、16時頃現地にて解散予定

学園のご紹介

学校法人京都橘学園は、日本の近代化が急速に進んでいた1902年(明治35年)、中森孟夫により創設された「京都女子手藝学校」をルーツとします。

当時は西洋の産業技術や文化が次々と流入し、人々の暮らしが刻々と変化するまさに激動の時代。その中で、中森は女性が経済的に自立(自営独立)することの重要性を認識し、「女子のための実業教育(技芸教育)の学校」として、刺繍や裁縫などの技術を教授するほか、小学校教員の養成にも取り組みました。

中森は、一貫して「変化の激しい時代においてこそ、自営独立するためにも知識と技能を修得することが大事である」と考え、生涯教育に情熱を注ぎ、多くの学校設立を手がけました。京都橘学園の建学の精神である「力を実業教育に注ぎ、将来自営独立の実力を得しめん」には、こうした中森の想いが端的に表れています。

本学園は、時代や社会、人々の学ぶ意思に応える教学展開をめざし、いくつもの改革を重ねてきました。2022年に学園創立120周年を迎え、現在、大学・大学院、中学校・高等学校、こども園に、約8,500名の学生・生徒・園児が集い学ぶ総合学園となりました。

京都橘大学は、1967年に文学部単科の女子大学として京都山科に開学しました。2005年の男女共学化、大学名の改称、京都の4年制私立大学として初の看護学部設置を皮切りに医療系学部を拡充し、近畿地区最大級規模の医療系分野を擁する総合大学となりました。2021年には、AI時代の社会の要請に応えるため、工学部・経済学部・経営学部を同時に開設。2023年には現代社会で不可欠となるデータサイエンスの基礎を全員が学ぶ総合心理学部が誕生するなど、文理横断の新たな学びの環境を充実させて「総合知」を涵養しています。教学理念「自立・共生・臨床の知」のもと、予測困難で正解のない時代だからこそ、学生自ら考えぬき選んだ道に自信をもって歩めるよう、一人ひとりの成長に寄与する教育創造に尽力しています。

また、本学園では、2023年度より新たな社会価値の創造をめざして、第3次マスタープラン(中期事業計画)を策定し、さらなる改革を進めています。時代や社会が変化するからこそ、本学園で培われる知と知の結合により、これまでにない価値を生み、自身や世界が変わるような新たな学びの環境の創出に向け、「学びで世界を変える」を合言葉に構成員一丸となって挑戦を続けていきます。また、学園と地域社会が一体となるような産官学連携の教育研究や、心身の健康と人とのつながりを生み出す交流を通じて、地域全体のWell-Being実現へ貢献してまいります。



【名称の由来】

「橘」という名は日本固有の柑橘樹に由来します。前身の京都女子手藝学校の所在地が京都御所の西に位置していたことから、紫宸殿の前庭に植えられている「左近の桜、右近の橘」にちなんで名づけられました。橘の実は繁栄や長寿の象徴として尊ばれています。